

Q 1

志望理由をお聞かせください★★★

質問の意図

志望理由は、全員が全員、答えを準備してきています。面接で改まって聞かれることはなくても、関連した質問はほとんど100%の確率で出ますし、願書に項目があればその記載内容を前提とした質問が出ます。いくら準備してもしすぎることはない質問です。

ズバリ、面接官に「この親はいいぞ」と思ってもらえる答えを目指しましょう。「貴校の○○という教育方針に感銘を受けました」に代表されるような学校案内のパンフレットやウェブサイトに載っている文言の繰り返しほど退屈で平凡な答えはありません。面接官は一応ニコニコ聞いてくださるかもしれませんが、内心、「またこれだ。変わり映えのしない答えだな」と思っています。「並」の評価はもらえるかもしれませんが、合格へと押し上げる高い評価を得られるとは思えません。

学校の建学の精神、教育方針と我が家の考え方の一致するところは何ですか。子どもに望むことをこの学校はどのように満たし導いてくれると考えられますか。学校説明会の話で自分たちにとって重要だと感じたことは何ですか。学校と自分たちとの接点を具体的に示すことがポイントです。

はつきり言えば、建学の精神に感銘を受けたとしても、それについていくことができる家庭の力がなければ入学するにふさわしくないと学校は判断します。教育内容に賛同してくれたとしても、同じ考えで子どもの教育にあたってくれる保護者でないと、学校はその子どもを預かろうとはしません。

直接的に「我が家を入学させるとトクですよ」とは言えませんが、そのくらいの気概を持って志望理由を語る説得力が欲しいところです。面接官をこちらのペースに引き込み、話にならずいてもらえるように努力しましょう。

答え方のツボ

- ・学校の教育方針と我が家（親、子ども）の子育てや教育方針との接点を示す。
- ・自分たちは十分に学校の期待に添えることを示す。

これはダメ！

- ・学校が提供する情報のコピーは能がない。自分の言葉で語ろう。

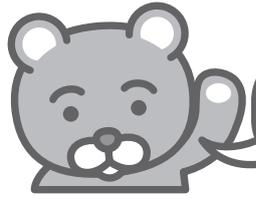
答え方のサンプル

（例1） 私たちは娘が生まれたときから、人のために必ず役に立つ役割を持つようにという願いをもって育ててきました。こちらの学校でお教えられることは多くあると思いますが、私たちが特に心を動かされることは、奉仕の精神の育成に力を入れておられることです。私自身、両親や学校で人のために働く心を持つことの大切さを教えられてきましたが、今の時代は自分中心の考えが強まっていることに悲しみを覚えます。娘には自分を強く持ったうえで周りの人たちに純粋な気持ちで奉仕をする人になって欲しいと願いますので、貴校でご指導いただけることを親として心から臨んでいます。

（例2） 心身ともにたくましい子どもを作るというこちらの方針のもと、息子を強く鍛えていただきたいと思います。志望しています。私は小学生時代から大学まで野球が生活全ての中心であり、野球を通じて学んだことが私の人間形成に大きな影響を与えました。息子にも一本筋の通った人間となることを望んでいます。貴校はまさに自分にも人にも責任の持てる筋の通った人を育てる指導をなさっていると感じています。

●● 関連質問

- ・他にどちらの学校を受験しますか。



Q 4

本校は第一志望ですか★★★

質問の意図

第一志望かどうかの核心を突く質問です。学校は、当然のことながら第一志望の家庭に入学して欲しいと考えます。しかし、実際は第二、第三志望、または入学の意思が強くないにもかかわらず、いわゆる滑り止めや力だめし、記念受験として受けさせる家庭もあります。

考査の結果だけで順位を並べていくと、第一志望者だけが上位に並ぶというわけではありません。他の学校に流れて入学辞退者が続出してはたまりません。入学意思を確認しておく意味は十分にあるのです。

第一志望の場合は、ここぞとばかり入学希望の気持ちを強くアピールしましょう。言葉の選び方や態度で伝えることができます。

第一志望でない場合は、どうしても学校の研究と熱意のレベルが低いことが出てしまい、多くの受験家庭を見てきている学校にはバレてしまいます。そのことは覚悟しておきましょう。うまく回避するには、第一志望校並みに志望動機の内訳作りと学校研究をしっかりとしておくこと、これに尽きます。

答え方のツボ

- ・第一志望なら熱意とその裏づけをしっかりと訴える。
- ・第一志望でない場合でも、「はい、第一志望です」と答え、精一杯の研究成果を述べる。
- ・言葉は短く、断定的な言い方のほうが熱意は伝わる。

これはダメ！

- ・「実は他校も考えていました」など、第一志望でないことをほのめかす発言をすれば、不合格となると覚悟する。
- ・言葉に詰まるのもNG。本当に第一志望なら、この質問に対してうろたえることがあってはならない。

答え方のサンプル

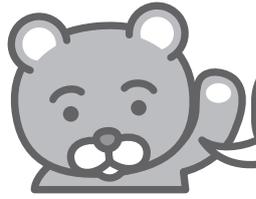
(例1) 息子を預けたいと思いますのは、貴校のみです。多くの学校がある中、貴校の〇〇の教育方針こそが私たちが息子に与えたいと考える学校の姿です。

(例2) 是非ともこちらの学校にお世話になりたいと強く希望しています。他の学校は受験していません。私たちは子どもに自分で考え生きる力をつけて成長して欲しいと願っていますが、貴校の伝統的な教育方針である〇〇のもとでご指導いただくことが何よりの希望です。

(例3) 娘が生まれたときから、貴校にお世話になりたいと考えてきました。〇〇な女性を育てるというお教えは、私たちが娘に願う女性像そのものです。

●●関連質問

- ・他に受験されている学校はありますか。それはどちらの学校ですか。
- ・国立大附属小学校を受験しますか。
- ・(子どもに) ほかにどんな学校を受けますか。
- ・(子どもに) この学校の名前を言ってください。



Q 11

(父親に) 学校説明会の感想をお聞かせください★★★

質問の意図

学校説明会に参加していればそれなりに答えられますが、参加していない場合は答えに窮する質問です。

参加したのであれば、特に校長先生（校長が登場しなかった場合は教頭先生など、登場した最も責任ある職位の先生）の話で印象に残った点、構内を見学できたのであれば児童や施設の印象を述べます。だいたいの家庭も同じようなことを話しますので、面接官に「お！」と思わせるには、自分なりの洞察を加えることです。「校長先生の○○のお話に感銘を受けました」「整備の行き届いた教室が素晴らしいと思いました」だけでなく「校長先生のおっしゃった○○ということが、私の子育てに対する考えと同じで、是非こちらにお世話になりたいという気持ちを固めました」「隅々まで清掃の行き届いた構内は掃除を生活規範の重要な一環とみなす考えの表れと思います。我が家でも同じ考えでしつけております」など、我が家庭との接点を見出すコメントを述べます。

説明会に参加しなかった場合は、率直に「〳〵の理由より参加することができませんでした」と述べます。そして、「しかし、出席した妻から詳細に話を聞き、○○のお話特に強く関心を持ちました。といえますのも、私たちも同じ考えで子どもと向き合い、育ててきたからです」のようにフォローする必要があります。学校は、可能な限り父親にも母親にも説明会に来て欲しいのが本音ですが、仕事など致し方ない理由があり、説明会の内容が母親を通じて伝わっているとわかれば理解を示します。

答え方のツボ

- ・参加した場合、校長先生の話に自分の洞察を加えて語る。
- ・不参加の場合、欠席理由と、妻から聞いた説明会の様子から感想を述べる。

これはダメ！

- ・不参加にも関わらず、参加したと嘘をつくのはNG。突っ込まれたときに窮することは必至。
- ・学校案内パンフレットに掲載されている程度の情報で感想を述べるのは不足。

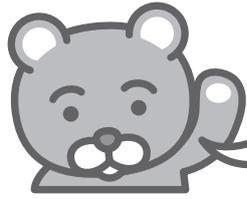
答え方のサンプル

(例1) 校長先生から学校の教育特色、そして保護者に求めるものに関するお話を伺えたことは大きな意義がありました。私たちがどのような姿勢で学校と関わっていくかということは、説明会でお聞きしてこそ十分に理解できました。自ら考える力を伸ばすことに重点を置いた指導とその詳細を伺いしましたが、私たちが子どもに自分で生きる力を付けて欲しいと願っていることとおおいに重なりました。また、学校と家庭は車の両輪であり、ともに方向性と歩調を合わせながら子どもを育てていくことが重要と考えておりますが、まさにそのことを先生がおっしゃいまして、是非とも息子をご指導いただきたいという気持ちが一層強まりました。

(例2) 説明会当日は重要な出張があり、出席することができませんでした。大変申し訳ございません。妻が出させていただき、先生方のお話や学校の様子を詳しく聞きました。特に一人ひとりが違う個性を持った人間として、学習面ならびに生活面で大切に見ていただけるということに、妻も私も大変ありがたいことと感じています。私たちが小学校教育に期待することが貴校で実現されていることを確認することができました。

●● 関連質問

- ・公開行事には参加いただけましたか。



Q16

学校の行事にはご参加（協力）いただけますか★★★

質問の意図

保護者として、学校行事に参加することは大前提です。この質問で「難しいと思います」と答えれば合格から遠ざかることは必至です。もし両親ともに仕事を持っていて、平日の行事への参加が危ぶまれていても、「仕事を休んで参加します」と明言すべきです。授業参観、保護者会、運動会、文化祭など、大切な子どもたちの学校行事に参加しないことは学校にとっては理解し難いことなのです。何としてでも出席する意思を示し、実際にもその意気込みで子どもを学校に通わせる親でなければ合格は難しいと言えます。

各種行事の準備進行で保護者の手助けを必要とする学校もあります。そのような学校では、面接で学校に協力できるかどうかを質問します。もちろん、最大限の協力をすると答えるべきです。仕事をしているため労働という意味での協力ができない場合、そのかわりにどのような協力ができるとかという提示することも一つの対策です。寄付など金銭的な面、仕事関係からの協力などが考えられます。

答え方のツボ

- ・学校行事への参加、協力は最大限行うことを明言する。
- ・難しい場合は代替案を提示する。

これはダメ！

・仕事を理由に参加や協力ができないとは言わない。自己都合にすぎない。

答え方のサンプル

(例1) 学校の行事には勿論必ず参加します。行事は学校が一体となる大切な機会ですし、子どももそのようなときに一段と成長すると思います。その貴重な機会を親として見守り、また、必要であればお手伝いをさせていただきます。と思っています。

(例2) 仕事を持っていますが、行事には休みを取って出席するつもりでいます。学校関係は何より最優先で考えていますし、私も行事への参加を楽しみにしています。

(例3) 私ども両親ともに仕事を持っていますが、なるべく二人そろって、また最低限でもどちらか一人が参加するようにするつもりでいます。ただ、事前の準備などの形でお手伝いするのはなかなか難しいと思いますので、ご寄付などでお手伝いさせていただけるのであれば、是非にと思っています。

●●関連質問

・お仕事は学校行事に参加するときに支障になりませんか。
・(母親が医師・弁護士の場合) お仕事のやりくりがむずかしいのではないかと思います。



Q 18

ご家庭の教育方針についてお聞かせください★★★

質問の意図

ズバリ、子どもの教育に関する考えを問う質問です。願書によく見られますが、面接でも単刀直入に聞かれます。質問の目的は大きく二つ。一つは、子どもの教育についてどのような考えを持っているか、もう一つは、その考えは本校の考え方と合致しているか。願書・面接対策上、最も重要な質問と言えます。時間をかけて考えをまとめ、言葉を選びましょう。

志望校の教育方針との一致にこだわり過ぎる必要はありません。「思いやりのある子」「自分で考え、行動できるように」など、学校案内や校長先生の話をもそのまま持ってきたような答えは面接官をシラけさせるだけです。極言すれば、「こういう子に育ってほしい、だからこう育ててきた、したがって、御校に志願した」でいいのです。家庭の教育方針が志望校の教育方針に合うか合わないかは面接官が判断することです。こちらが押しつけることはありません。

答え方のツボ

- ・教育方針の柱は、一つか二つでよい。それに集中して説得力を高める。
- ・我が家の教育方針をしっかりと固めるのが先決。
- ・なぜそう考えるのかという理由、どのように実践しているかという具体例を示す。
- ・家庭のあり方が見える内容とする。

これはダメ！

- ・三つ以上書くと、どれが特に重要なのがぼけるだけでなく、印象が弱まるので避けたい。
- ・大それたことを書いている割に実が伴わない内容は見抜かれる。

答え方のサンプル

(例1) 我が家の教育方針は、大きく二つあります。一つは礼儀正しくすることです。礼儀は人とのつながりの基本、相手を敬う気持ちの表れです。私自身、親から礼儀について厳しく教えられました。昨今はそれを軽んじている風潮があることを悲しく思います。息子には今から礼儀正しい姿勢を厳しく教えています。二つ目は自然と親しむことです。まとまった時間が取れるときは、必ずといっていいほど自然豊かな場所に出かけています。先の連休には山中湖でキャンプをしました。自然の美しさと怖さを体感するだけでなく、自然への畏敬の念を幼い頃から覚えて欲しいと願います。そうすることで、現在問題となっている地球温暖化への身近な取り組みもできる心が育つと考えます。

(例2) 我が家では、責任感を持つということを常に心がけています。責任とは、自分への責任と他者への責任です。自分で考え、判断し、行動することには最後まで責任を持つということは、幼児であっても教えられたいと思います。日々の生活の中で指導しています。同時に、他の人、社会への責任も果たせるように少しずつ教えています。現在のところは園生活、友人関係が子どもの社会ですので、決まりや約束を守ることの大切さを教えています。

●● 関連質問

- ・お子さんの教育でもっとも重視することは何ですか。



Q 28

どのようなお手伝いをさせていますか（しますか）★★★

質問の意図

ズバリ、お手伝いの内容を聞く質問です。お手伝いを重視しない学校はありませんので、どの学校で聞かれても不思議ではありません。

どのような手伝いをさせているか、子どもの取り組み方かどうか。このあたりを明快に答えられることが大切です。「え」と、お手伝いですか、その……」と口ごもった時点で、この家は手伝いをさせていない、とわかってしまいます。

答え方のツボ

- ・年齢にふさわしい手伝いをしているか、考え直してみよう。5、6歳には簡単すぎる手伝いでは物足りない。
- ・毎日の手伝いのほか、日常的な仕事ではないが、家でするときには手伝うことが恒例になっているものの両方があると良い。
- ・子どもはどのように手伝いを捉えているか。楽しみながらやっているか。それとも「やらされている」感覚が強いのか。前者が望ましいことは言うまでもない。

これはダメ！

- ・あまりに簡単な手伝いのみ（例：新聞取り）、またはあまりに大きい仕事のみ（例：窓ガラス拭き）というの
は不適當。

- ・することが当たり前と考えられるものを手伝いには含めない（例：自分が食べた食器の片付け）。
- ・強制的にやらせているのは良くない。あくまで躰や家庭の助けとなるという観点から述べたい。

答え方のサンプル

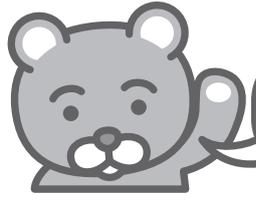
（例1）普段は洗濯物を干すこと、たたむことをしています。家事を少しでも手伝ってくれることは私としても本当に有難いので、「いつもありがとう」と言っています。それが嬉しいのか、「こうやって干すと早く乾くかなあ」と干し方を研究したり、また、洗濯物の取り込みを忘れていると「お洗濯物取ってくるね」と自分から取り込みに行ったりしています。

（例2）食器洗いと食器拭きをいつも手伝ってくれています。もともと、食器洗いを面白がってやり始めたのですが、洗って終わりでは中途半端ですので、私と一緒に拭いて食器棚にしまうところまでするようにしました。本当は私一人であるほうが時間的には早く済むのですが、子どもは自分の得意な仕事として認識しており、お皿をピカピカにすることで日々達成感を得ているようですのでほほえましく見えています。

（例3）日常的には郵便物の取り込みとトイレ掃除をしています。トイレ掃除は薬剤は危険ですので使わせませんが、洗面所全体をきれいにする役目を担っています。自分で掃除するようになってから汚さずに使わなくなりしましたし、家族が汚すと「きれいに使おうよ！」と呼びかけています。また、我が家では3ヶ月に一度、中掃除と呼ぶ比較的しつかりと掃除する日を設けていますが、そのときには窓ガラスを洗って拭くこと、床掃除などもどんどんやらせています。掃除好きな子どもになったのは小さいころからやらせていたからかなと思います。

●● 関連質問

- ・家庭でお子さんほどのような様子ですか。



Q 29

（父親に）休日はどのように過ごしますか★

質問の意図

休日の過ごし方は家族の特徴がよく現れます。休日の過ごし方を通して、保護者の趣味趣向、子育てとの関連を知ろうとする質問です。特に父親に向けて、「お子さんとお休みの日はどのように過ごしますか」という質問がよく聞かれます。

これは、とかく父親は平日は仕事で帰りが遅く、子どもとの接点が少なくなりがちであることにより、子どもにとっては父親、母親それぞれが異なる役割をもって接していますが、父親の存在、子どもとの関わり方は学校にとつての関心事項です。

答え方のツボ

- ・ 休日を家族としてどのように過ごすかがポイント。家族それぞれがバラバラに過ごすのは望ましくない。
- ・ それを踏まえ、典型的な週末の過ごし方を答えればよい。
- ・ 特に父親に向けて質問される場合、子どもとどのように時間、体験を共有しようとしているか、具体的な行動パターンとともに答える。

これはダメ！

- ・ 個人主義的な家庭。
- ・ 週末に幼児教室通いに明け暮れるようでは学校が望む答えは出せない。

答え方のサンプル

(例1) 我が家は休みの日はとにかく外へ出て体を動かそうということをもットーにしています。遊ぶ道具を持って自転車で乗り、公園に家族全員で出かけることがよくあります。公園まで30分ほどのサイクリングとなりますが、途中で季節のさまざまな変化や町の様子の発見があり、とても楽しい道なのです。公園ではバドミントンやボール遊びなどをたっぷり楽しみます。それが習慣化しているので雨の日はつらいのですが、家で皆でゲームをしたり、片付けをしたり、と一緒にできることを見つけて楽しんでいます。

(例2) 私も妻も絵を観ることが好きなので美術館に出かけたり、子どもの好きな博物館に出かけたりしています。美術館は子どもが退屈するかと心配しましたが、赤ん坊のときから抱っこして連れて行っているせいか、自然と静かにすることを学んだようです。親の趣味につき合わせてしまっていますが、いつか一緒に絵について語り合える日が来ることを楽しみにしています。一方で子どもは特に上野の国立科学博物館が好きで、展示物については親よりも詳しくなり、私たちが解説を聞くほどです。それもまた楽しいものです。

(例3) 車で一時間ほどの祖父母宅によく出かけています。私の父が病氣療養中で厳しい状態ですので、父にも子どもにも、今のうちに一緒に過ごす思い出をと思い、足繁く通っています。子どもなりに祖父の様子の変化を感じ取っているようで、いたわりの言動が見られるようになったことは、一つの成長と感じています。祖父母宅の近くには森林公園があり、そこにも必ず連れて行きます。季節による植物や昆虫の生態に触れたり、親子で息を弾ませて運動したりしています。

●● 関連質問

- お休みの日はお子さんとのように過ごしますか。
- 土日はお休みがとれないようですが、お子さんとはどんなときに一緒に時間をもちますか。